

礼拝参加にあたって (2022年11月)

—COVID-19の影響のもとにある教会の礼拝と集会—

神さまのいのちと愛、平和と正義の交わりの中に、私たちは生かされています。

感染症の劇的な拡大には至っていませんが、安全対策が確立されて終息に向かうまでには、まだまだ時間がかかりそうです。その間、私たちは、新しい生活様式を工夫し、また必要な状況にあわせながら、教会の活動を続けてゆきたいと思えます。

だれもがこのウイルスに接している可能性、新たな感染者となる可能性があることを常に心にとめます。またどのような状況になっても、これからも信仰と希望を失うことなく、一層の配慮を必要とする人びと、社会の中で弱くされている立場の人びとへの配慮を忘れることなく、過ごしてゆきましょう。

私たちは新しい生活、新しいあり方、そして新しい表現を探しながら、この社会のなかで人と人とが支え合いながら過ごす信仰生活を求めてゆきます。感染症への対応として、また人びとのいのちを守り、社会的な責任を持つ信仰者のひとりとして、教会の礼拝や集会に出かけないという選択をせざるを得ないという苦悩もまた、キリストと共にあることのしるしとして、祈りとともにお献げいたしましょう。

そこで、私たちは以下のように、それぞれが注意しながら、教会の礼拝・宣教・奉仕の交わりに加わり、共働して進んでゆきます。

(2020年6月記す)

1. 礼拝・集会などに出かける前に（当日および前日）

- ① カゼのような症状があるとき、体調や気分が優れないときは、また体温が平熱より1℃以上高いときには、自宅で待機します。
- ② 移動の経路を確認します。混雑した公共交通機関の利用をできるだけ避け、徒歩、自転車、自家用車などを利用する工夫をします。
- ③ マスクを用意してでかけます。移動中も会話などは避けるようにして、マスクの着脱、飲み物の準備・水分補給など、感染予防、熱中症などに気をつけます。
- ④ 出かけないという決断も大切にします。移動手段などを含め、礼拝出席に不安のある方、基礎疾患のある方やご高齢の方などは、日常的に無理な外出を避けます。
- ⑤ 礼拝に参加の時は、礼拝参加の方法や注意するところをよく確認します。
聖アンデレ教会では、当面、各礼拝の参加を約55席以下といたします。そのため定員を超えた場合、ホールや屋外で参加または待機いただく場合があります。
- ⑥ 所属教会以外の集まりに参加を希望する場合は、前日までにその教会に連絡し、参加の許可を得るようにします。

2. 礼拝に出席するときに注意したいこと

(A) すべての礼拝に関して

- ① マスクは着用したまま、礼拝に加わります。
- ② 聖堂の外に設置される専用の手洗い場・薬液で、手を洗います。
- ③ 掲示されている注意事項を確認します。不安がある方、希望者は検温を行います。
- ④ 出席カード（初めての方は「新来者カード」）を記入し提出します。
複数回の礼拝等に参加の場合、その都度、同カードの提出をお願いします。
(所定の箱に入れて提出します。筆記具の持参をおすすめします。)
- ⑤ 献金は献金箱に入れお献げします。礼拝中には集めません。受付付近に献金箱が用意されます。
- ⑥ 手指を消毒して入堂し、聖堂入口に置いてある式文・礼拝用書、週報を各自で取ります。
- ⑦ 堂内の座席は2～3脚で1席となっています。同居・同伴の方は1席に2～3人で並んで着席

いただけます。

- ⑧ 荷物は床には置きません。荷物は空いている座席や座席下の荷物棚に置きます。
- ⑨ 席に着き、できるだけ移動や人との接触を避けます。人と人との距離(1m程)に注意します。
- ⑩ 堂内ではできる限り沈黙をまもり、挨拶は席から移動せず、会釈にいたします。
- ⑪ お祈りを唱えるときや歌うときは、小声で、あるいは心の中で唱えまたは歌います。
- ⑫ 礼拝後、すぐに席を立たず、通路・出入口の密を避けるため、案内を待ちます。
- ⑬ 退出は、人との間隔をとり、滞留を避けて順次退出します。
- ⑭ 使用した備付けの礼拝用書は所定の場所に戻し、週報などは忘れず持ち帰ります。
- ⑮ 出口付近や屋外、その他の場所でも、密集・接触を避け、速やかに移動します。
- ⑯ 礼拝等の前後の休息は所定の場所で行います。マスクを着用、また持参したものの飲食は「黙食」で行います。なるべく教会に長く留まらないようにします。

(B) 聖餐式が行われるとき（くわえて注意していただきたいこと）

- ① 「平和の挨拶」は、場所を移動せず、相互に会釈して行います。
- ② 「奉献」のパンとぶどう酒はあらかじめクリーデンスに用意します。
- ③ 陪餐前の唱和「あなたのために与えられた（流された）主イエス・キリストの体（血）」
「アーメン」は、陪餐前に全員で唱えます。それぞれが陪餐するときは、沈黙を守り、唱和の言葉は心の中で唱えます。
- ④ 洗礼・堅信を受け、陪餐の許しのある方は、パンとぶどう酒をいただきます。また他の教派の教会で洗礼を受けて聖餐に与っている方の陪餐を許可し歓迎します。
- ⑤ 陪餐の時、お互いの距離を十分とって、マスクは着用のまま、正面に向かって前方の方から順に、中央通路を聖卓に進みます。祝福を希望される方も同様に進みます。（陪餐・祝福を希望されない方は、着席のまま過ごします。）
- ⑥ 中央通路前方に用意されている消毒薬を用いて手指を消毒します。
- ⑦ 陪餐するときは、手のひらで、司祭からぶどう酒に浸したパンを、またはパンを受けとります。
- ⑧ 陪餐の後、マスクを直し（必要があれば手指を消毒し）、席に最も近い通路部分を通して席に戻ります。

3. 主日（日曜日）・週日の礼拝参加

(A) 礼拝に関して

- ① 聖アンデレ教会で定期的に行われる公開での礼拝は以下の通りです。

主日（日曜日）

- 午前 7時30分 聖餐式／み言葉の礼拝
- 午前10時30分 聖餐式／み言葉の礼拝
- 午後 5時00分 夕の礼拝

週日（月・火・木・金・土曜日、および教会暦の祝日）

- 午前 7時30分 聖餐式／み言葉の礼拝

週日（第1水曜日）

- 午前10時30分 逝去者記念聖餐式／逝去者記念式

- ② 礼拝の様子は、**教会ホームページ**（聖堂の映像音声動画／検索[聖アンデレ教会](#)）、**礼拝電話**（音声／電話03-3434-5698）より配信されます。
- ③ こどもとともにささげる礼拝については、担当者にお問い合わせください。
- ④ 上記の「2. 礼拝に出席するときに注意したいこと」により、座席、出席カード、献金、礼拝用書、その他について確認します。

(B) 座席定員、グループ制・予約制、その他の制限について

聖堂の席にあわせて参加人数を制限して礼拝等は行われます。それ以外、特別な場合を除いて参加の制限はありません。定員を超えた場合、ホールや屋外などで参加・待機いただくことがあります。

(当面、礼拝参加をグループ制や予約制で行うことなどの制限はありませんが、状況の変化によっては、何らかの対応をみなさまにお願いする場合がありますのでお含みください。)

4. その他

- ① 入信の式、病者・牧会訪問などについては、遠慮なく牧師にお問い合わせください。
- ② 献金は、取り置いて、安心して教会に行くことができるようになったら、礼拝でお届けします。または安全に郵便局に行けるときは、郵便振替を活用します。
- ③ 教会施設の使用については、上の内容に準じて行います。
- ④ 自治体などによる具体的指針が発表された場合、基本的にそれに従うようにします。
- ⑤ ご自身、同居のご家族が感染したときや濃厚接触者と認められた時は、すみやかに教会に一報します。(また念のため、日常の生活の記録をしておくことをおすすめします。)

5. 集會に参加するときに注意したいこと (許可を得て施設を使用する際にお守りいただくこと)

- ① マスクは着用したまま、集まりに加わります。
- ② 専用の手洗い場で手をよく洗ってから建物の中に入ります。
- ③ 建物・施設の入口で、手指の消毒をし、さらに不安があれば検温します。
- ④ 名前と連絡先を確認します。(感染が発生したとき、必要な連絡を取るため)
- ⑤ それぞれの席に着き、人と人との距離(1m程)に注意し、できるだけ接触を避けます。
- ⑥ 集會での会話はマスクのまま、大声にならないように注意します。
- ⑦ 飲食は原則禁止とします。(各自が持参した飲食料に限り、感染症への対応の上、口にすることができます。飲食は「黙食」にします)
- ⑧ 施設の整美・管理に協力します
- ⑨ 「1. 礼拝・集會などに出かける前に」の項目を参照します。

6. 礼拝担当者 (教会委員および有志により対応します)

- ① 礼拝前に教会施設内を確認し、礼拝の準備を整えます。
- ② 入口・受付の、検温、手洗い場、消毒器具等の確認、礼拝用書、出席カード入れ、配布・回収のための物品、案内掲示等の準備をします。
- ③ マスクなどを確認し、身支度をして来会者に備えます。受付や出入口などに人が密集しないように誘導します。
- ④ 来会者に注意事項を確認してから必要なものを渡し席を案内します。
- ⑤ 礼拝中で信施/献金は集めません。入口の献金箱へお願いしてください。奉献の時箱を聖卓まで運び奉仕者に渡します。
- ⑥ 礼拝中に体調不良となった方には、ショウホールで休んでいただき、必要な連絡をします。
- ⑦ 受付中もこまめな消毒に心がけ、来会者との接触に注意します。
- ⑧ 堂内、出口付近などで密集しないよう案内しながら順次退出していただきます。
- ⑨ 礼拝が終わったら、回収した礼拝用書や使用した備品を片付けます。また、ごみを処理し、必要があれば来会者それぞれの席の清掃をします。

- ⑩ 必要な事項を記録し引継ぎ、次回の使用に向けて設備備品を整えます。

7. 礼拝奉仕者（教役者および有志により対応します）

- ① 礼拝準備の前に手指の洗浄消毒をし、マスクをしたまま必要な準備を行います。
- ② 礼拝準備中、消毒していないものに手が触れたときは、速やかに消毒するようにします。
- ③ 礼拝奉仕者は、人と人との距離に十分注意し、マスクを着用して礼拝奉仕にあたります。（司式者、朗読者等は、聖品・聖卓、人と人の距離をとることができるときマスクを着用しないことができる）
- ④ 大声での発声を避けるため、音響装置を活用します。
- ⑤ 礼拝奉仕者がクリーデンス・テーブルのものに触れる前に、手指を消毒します。
- ⑥ 入退堂の時、人と人との距離を十分（1m程）にとります。
- ⑦ 礼拝後の片付けと準備は、手指の洗浄消毒をしマスクをして、無言で可能な限り少人数で行いません。
- ⑧ アコライト、オルターギルドのご奉仕についての注意点は別にお伝えします。
- ⑨ 礼拝での奉仕を希望される方は、奉仕担当表（聖堂後方卓上）に記名します。

【参考資料】

聖餐式での感染症対策

聖アンデレ主教座聖堂 20210730

- ・教会・礼拝堂施設での出入の際は、手足など洗浄・消毒に留意する。
また公共交通機関の使用の回避など移動についても留意する。
- ・聖具類は、清掃・洗浄・消毒をし、清浄なものを用いる。それ以外の聖卓周りのものも清浄を旨として準備する。
- ・聖具類に触れるときは、事前に手指を消毒する。
- ・入退堂の時は、人と人との間隔に注意する。
- ・大きな呼吸を必要としないよう、音響設備を活用し、言葉や歌の発声に注意する。
- ・マスクを着用する。ただし司式者は、十分な距離を、聖品・聖卓・他の人びととの間にとることができるとき、着用しないことができる。
- ・朗読・説教する者はその間、感染対応の上、マスクをしないことができる。
- ・マスクの脱着は、ひもを持って行い、着脱の後、手指を消毒する。
- ・平和の挨拶では移動せず十分な距離をとって挨拶を交わす。
- ・奉献の準備・献金の扱いは、手指を消毒した補式者が行う。
- ・準備と続く聖別の間（聖卓に口にしているものがあるとき）、司式者は聖皿、聖杯、ポール、ピュリファイカーとコーポラル以外に触れない。触れた場合は直ちに手指を消毒する。
- ・司式者はマスクを取って手指を消毒してから陪餐する。その後マスクを着け、手指を消毒して分餐に移る。聖卓布汚染防止のため、外したマスクを置くための消毒済の器を聖卓上に用意しておく。
- ・補式者や会衆の分餐は、ワインに浸したパン、あるいはパン一種のみを、受領者の手のひらに置くようにして行う。手と手の接触は避ける。分餐前の言葉は、一同で一度、唱えるようにしてもよい。分餐時の「アーメン」は言わない。（心の中で、あるいは口を開かず言う。）残った聖品の飲食および器の清めは司式者が行う。
- ・会衆がある場合、消毒や相互の距離など、感染予防、3密を避けるようにする。
- ・礼拝後はなるべく速やかに退出する。また必要な清掃や消毒をお願いします。

以上

※社会的な状況や、教区の指示や調整のため、この内容は変更されることがあります。